

令和4年度 専攻科学生募集要項



独立行政法人 国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

National Institute of Technology ,Tokyo College

令和4年度 専攻科学生募集要項

1 アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本専攻科では、学習・教育目標の国際化・複合化に対応できる技術者を育成することを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 工学の基礎を修得し、実践力、創造力、研究開発力の素養を有している人
- (2) さまざまな課題に主体的に取り組む意欲のある人
- (3) 自己表現や他者理解などを積極的に図ることができる人

◇入学者選抜の基本方針

上記アドミッション・ポリシーに合致した選抜方針としています。

(1) 推薦による選抜

出身高等専門学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

(2) 学力による選抜

一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有する志願者を選抜する。

(3) 社会人特別選抜

企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

2 東京工業高等専門学校専攻科の「カリキュラム変更」について

本校本科のカリキュラムは、令和2年度までに学年進行で新カリキュラムへの移行が完了しました。これに伴って、本校専攻科では、令和4年度入学者からカリキュラムの大幅な変更を計画しています。

専攻科の新しいカリキュラムでは、専攻科1年次の後期に、

- ①本校本科の特徴的な取り組みである社会実装
- ②国内外での共同研究型長期インターンシップ
- ③創造的な研究

という3つの活動を、学生が自らの個性に応じて設計する「個別最大化の学び」の期間を設け、学生が主体的に考え行動する力の育成を支援します。また、魅力的なリベラルアーツ科目を新設して、持続可能な社会の実現に貢献し、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備えたグローバル人材の育成を目指します。

本校専攻科は、大学改革支援・学位授与機構（以下「学位授与機構」という）の審査を受けて、特例適用専攻科の認定を受けており（次項参照）、新しいカリキュラムについては、令和3年度に審査を受ける予定です。審査結果は令和4年2月に通知されますので、本校ホームページ上でお知らせします。

※現行のカリキュラムについては、本校ホームページから確認できます。

トップページ→学科・専攻科→シラバス (<https://www.tokyo-ct.ac.jp/department/syllabus/>)

また、新カリキュラムの情報につきましても、準備が整い次第今後ホームページに掲載していく予定です。

3 募集人員と試験区分

専攻名	入学定員
機械情報システム工学専攻	8名
電気電子工学専攻	8名
物質工学専攻	4名

入学者の選抜は、「高等専門学校長の推薦による選抜」、「学力による選抜」、「社会人特別選抜」とします。

試験区分	募集人員	
推薦による選抜	機械情報システム工学専攻	4名程度
	電気電子工学専攻	4名程度
	物質工学専攻	2名程度
学力による選抜	機械情報システム工学専攻	4名程度
	電気電子工学専攻	4名程度
	物質工学専攻	2名程度
社会人特別選抜	機械情報システム工学専攻	若干名
	電気電子工学専攻	若干名
	物質工学専攻	若干名

4 入学者選抜関係日程

推薦による選抜	願書受付期間	令和 3年 5月 6日(木) ~ 5月12日(水)
	試験日	令和 3年 5月20日(木)
	合格者発表	令和 3年 5月28日(金)
	入学確約書提出期限	令和 3年 6月 4日(金)

学力による選抜	願書受付期間	令和 3年 7月 5日(月) ~ 7月7日(水)
	試験日	令和 3年 7月26日(月)
	合格者発表	令和 3年 8月 3日(火)
	入学確約書提出期限	令和 3年 8月16日(月)

社会人特別選抜	願書受付期間	令和 3年 7月 5日(月) ~ 7月 7日(水)
	試験日	令和 3年 7月26日(月)
	合格者発表	令和 3年 8月 3日(火)
	入学確約書提出期限	令和 3年 8月16日(月)

5 応募書類と提出された個人情報の利用範囲

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報、及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

6 その他の注意事項

1. 願書出願時に配布する「受験者心得」をよく読んで試験会場においでください。会場では係員の指示に従ってください。
2. 受験する者のための宿舍のあっせんは行っていません。
3. 身体に障がいがある者及び発達障がい等がある者の出願

身体に障がいがある者及び発達障がい等がある者で、受験上特別な措置及び入学後に修学上特別な配慮を必要とする者は、下記の事項を記載した申請書を提出し、相談してください。

申請期日： 推薦による選抜 …… 令和3年4月23日(金)まで
学力による選抜 …… 令和3年6月25日(金)まで
社会人特別選抜 …… 令和3年6月25日(金)まで
提出先： 東京工業高等専門学校 学生課教務係
申請書： 書式はA4版とし、以下の書式を参考に作成してください。

身体に障がいがある者及び発達障がい等がある方 【事前相談書式例】

令和 年 月 日
東京工業高等専門学校長 殿
氏 名(ふりがな) 生年月日・性別 住 所 電話番号
東京工業高等専門学校専攻科を受験したいので、下記のとおり事前に相談します。
記
・ 志望する専攻名 ・ 試験区分(推薦・学力・社会人特別選抜) ・ 卒業(見込み)学校名および卒業(見込み)年月日 ・ 身体の障がい等の種類、程度 ・ 受験上希望する特別措置 ・ 修学上希望する特別措置 ・ 次の資料を添付してください 身体障がい者手帳(写)、診断書、その他参考となる資料等

4. 募集要項等の交付、出願手続等、入学試験に関する事務については、すべて下記において取り扱います。

〒193-0997

東京都八王子市栢田町 1220-2

東京工業高等専門学校 学生課教務係

電話 042-668-5127

※祝祭日を除く月～金曜日

午前9時00分～午後1時20分、午後2時10分～4時00分

高等専門学校長の推薦による選抜

1. 出願資格

令和4年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、次の要件を満たす者。

- (1) 在籍する学校の校長が成績及び人物ともに優れていると認めて推薦する者
- (2) 本科1年～4年の各学年の評価点を以下の算定式により算出し、本科1年～4年の評価点の平均値が50以上の者
【各学年の評価点の算定式】
$$A=100-100 \times (K-1) / (N-1)$$

A：各学年の評価点、K：クラス順位、N：クラス人数
- (3) 選抜の日から遡って2年以内に、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト（以下「TOEIC 公開テスト」という。）または、TOEIC® Listening & Reading IP テスト（以下「TOEIC IP」という。）において、400点以上のスコアを取得している者

※TOEIC テストスコアについて

専攻科の入学者選抜における英語能力の確認は、TOEIC 公開テストのスコアを用いて行うこととしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により TOEIC 公開テストの受験機会が少なかったことから、令和4年度入学者選抜に限り、次のいずれかのスコアを使用することとします。

- 選抜期日から起算して2年以内に取得した「TOEIC 公開テスト」のスコア
- 選抜期日から起算して2年以内に取得した「TOEIC IP」のスコア

2. 出願手続

(1) 願書受付

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、TOEIC 公開テストの受験機会が十分ではないことに配慮し、令和3年4月25日に実施される TOEIC 公開テストの結果を出願資格として使用する場合は、5月12日(水)に web 上で通知されるスコアの画面コピーを添付して出願することを認め、公式認定証が届き次第、原本の確認をさせていただくこととしました。これに伴って、推薦による選抜の願書受付期間を以下のとおり延長することとしましたので、ご了承ください。(令和3年4月16日追記)

期 間：令和3年5月6日(木)～~~5月10日(月)~~→5月12日(水)

郵送の場合は令和3年5月10日(月) ~~午後4時00分~~ → 午後5時00分必着とします。

時 間：午前10時00分～~~午後4時00分~~ → 午後5時00分必着まで
(午後1時20分～2時10分は除く)

場 所：東京工業高等専門学校 学生課教務係

※郵送の場合は、必ず簡易書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒(サイズ長形3号 120×235mm)に、384円切手(速達返信分)を貼付したものを同封してください。

(2) 推薦出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学志願書 写真票、受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽(縦4cm、横3cm)の写真を貼付してください。
調 査 書	本校所定の用紙を使用し、出身学校長が作成し厳封したものに限り、調査書とあわせて、成績証明書も添付してください。

推 薦 書	本校所定の用紙を使用し、出身学校長が作成し厳封したものに限り ます。
TOEIC スコアシート	選抜期日から起算して2年以内に取得したTOEIC公開テストの「公式 認定証」または、TOEIC IPの「スコアレポート(個人成績表)」の原本を 提出してください。 ※公式認定証またはスコアレポートの原本は受験票を送付する際に 返却します。
入学検定料	本校所定の「入学検定料振込用紙」を使用し、銀行等の窓口で振込 手続きをしてください。 検 定 料 : 16,500円 検定料納入期間 : 令和3年4月26日(月) ~ 5月10日(月)
入学検定料 払込証明書	「納入済票」(高専提出用)を「東京工業高等専門学校入学検定料払込 証明書」に貼付し、必要事項を記入のうえ、同封してください。
その他	現に日本国内に在住する外国人は、次の3点を提出してください。 ① 市区町村長の発行する「住民票」 ② 「在留カード」両面の写 ③ 「国民健康保険証」の写

(3) 出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等が不備なものは受理しません。
- ② 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- ③ 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り
消すことがあります。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、出身学校長から提出された「推薦書及び調査書」の審査と、希望専攻別で
行う「面接試験(専門科目による口頭試問を含む)」の結果を総合して判定します。

選抜日程等

試 験 日	時 間	科目等	出題分野・内容等
令和3年5月20日(木)	1名20分程度	面 接	人物評価 専門科目に関する口頭試問

※ 試験は本校キャンパス内で行います。

※ 試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

4. 合格発表

令和3年5月28日(金)に、速達郵便で本人及び在籍学校長宛に合否結果の文書を発送します
ので、到着は1~2日後となります。

本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の間合せには
一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和3年6月4日(金)までに入学確約書を提出してください。

期限までに提出しない者は、本校への入学の意志がないものとして取扱います。

学力による選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和4年3月に卒業見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育法における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間： 令和3年7月5日(月)～7月7日(水)

なお、郵送の場合は令和3年7月7日(水) 午後4時00分必着とします。

時 間： 午前10時00分～午後4時00分まで(午後1時20分～2時10分は除く)

場 所： 東京工業高等専門学校 学生課教務係

※郵送の場合は、必ず書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒(サイズ長形3号120×235mm)に、384円切手(速達返信分)を貼付したものを同封してください。

(2) 学力出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学志願書 写真票、受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽(縦4cm、横3cm)の写真を貼付してください。
調査書	本校所定の用紙を使用し、出身学校長又は学長が作成し、厳封したものに限り、調査書とあわせて成績証明書も添付してください。 出願資格(3)により出願する者は、以下の書類も併せて提出してください。 <ul style="list-style-type: none">• 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書• 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格(4)～(7)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。

英語能力に関する書類	<p>選抜期日から起算して2年以内を取得したTOEIC公開テストの「公式認定証」または、TOEIC IPの「スコアレポート（個人成績表）」の原本を提出してください。</p> <p>※公式認定証またはスコアレポートの原本は受験票を送付する際に返却します。</p>
入学検定料	<p>本校所定の「入学検定料振込用紙」を使用し、銀行等の窓口で振込手続をしてください。</p> <p>検 定 料 : 16,500円</p> <p>検定料納入期間 : 令和 3年 6月28日(月)～ 7月 7日(水)</p>
入学検定料払込証明書	<p>「納入済票」(高専提出用)を「東京工業高等専門学校入学検定料払込証明書」に貼付し、必要事項を記入のうえ、同封してください。</p>
その他	<p>現に日本国内に在住する外国人は、次の3点を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市区町村長の発行する「住民票」 • 「在留カード」両面の写 • 「国民健康保険証」の写

(3) 出願に際しての注意事項

- 出願書類等が不備なものは受理しません。
- 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- 受理した出願書類(TOEIC スコアを除く)及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 選抜日程等

試 験 日	時 間	教科等	出題分野・内容等
令和3年7月26日(月)	60分	数 学	微分積分(1変数、2変数、微分方程式を含む)、線形代数
	1名20分程度	面 接	人物評価、専門科目に関する口頭試問

※ 試験は本校キャンパス内で行います。

※ 試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

3. 選抜方法

(1) 選抜は、以下の4つの資料を総合して判定します。

- 調査書の内容
- 学力検査(数学)の成績
- 英語能力 TOEIC 公開テストスコアの換算点
- 希望専攻別で行う「面接試験(専門科目による口頭試問を含む)」結果

(2) 学力による選抜の配点比率(100%)

検査項目	配点比率	摘要
学力検査	30%	数学(筆記試験)
英語能力	30%	TOEICテストスコアの換算点
面接	40%	面接は専門科目による口頭試問を含みます。

(3) 英語能力

① TOEIC テストスコアについて

専攻科の入学者選抜における英語能力は、TOEIC 公開テストのスコアを用いて行うこととしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により TOEIC 公開テストの受験機会が少なかったことから、令和4年度入学者選抜に限り、次のいずれかのスコアを使用することとします。

- 選抜期日から起算して2年以内に取得した「TOEIC 公開テスト」のスコア
- 選抜期日から起算して2年以内に取得した「TOEIC IP」のスコア

② TOEIC テストのスコアの換算について

- 選抜期日から起算して、2年以内に取得した TOEIC 公開テストまたは TOEIC IP のスコアを以下の換算式により 100 点満点に換算します。100 点以上になる場合は 100 点とします。(小数点以下は切り捨てます。)

- 換算式 $TOEIC \text{ スコア} \times 1/5 - 20 = \text{換算点}$
(換算例)

TOEIC スコア	250 点	300 点	350 点	400 点	450 点	500 点	550 点	600 点以上
換算点	30 点	40 点	50 点	60 点	70 点	80 点	90 点	100 点

4. 合格発表

令和3年8月3日(火)に、速達郵便で本人宛に合否及び補欠者の通知文書を発送しますので、到着は1~2日後となります。

本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の問合せには一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和3年8月16日(月)までに入学確約書を提出してください。

期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。

なお、8月7日(土)から15日(日)まで、本校では夏季省エネ期間を予定しており、この期間は入学確約書の提出窓口も閉まりますので、ご注意ください。

社会人特別選抜

1. 出願資格

出願時において企業等での在職期間が1年以上である者で、かつ次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育法における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が、当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他、専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

(1) 願書受付

期 間：令和3年7月5日(月)～7月7日(水)

なお、郵送の場合は令和3年7月5日(水)午後4時00分必着とします。

時 間：午前10時00分～午後4時00分まで(午後1時20分～2時10分は除く)

場 所：東京工業高等専門学校 学生課教務係

※郵送の場合は、必ず書留とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒(サイズ長形3号120×235mm)に、384円切手(速達返信分)を貼付したものを同封してください。

(2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学志願書 写真票、受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽(縦4cm、横3cm)の写真を貼付してください。
調 査 書	本校所定の用紙を使用し、出身学校長又は学長が作成し、厳封したものに限りませ。調査書とあわせて、成績証明書も添付してください。 出願資格(3)により出願する者は、以下の書類も併せて提出してください。 • 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 • 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 出願資格(4)～(7)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。

実務経験報告	実務経験報告及び志望理由について、11 ページの書式で記載してください。
職務経歴書	12 ページの書式で記載してください。
出願承諾書	【企業に在籍のまま入学を希望する者のみ】 本校所定の用紙を使用し、所属長が作成したもの。
入学検定料	本校所定の「入学検定料振込用紙」を使用し、銀行等の窓口で振込手続きをしてください。 検 定 料 : 16,500円 検定料納入期間 : 令和 3 年 6 月 28 日(月)～ 7 月 7 日(水)
入学検定料 払込証明書	「納入済票」(高専提出用)を「東京工業高等専門学校入学検定料払込証明書」に貼付し、必要事項を記入のうえ、同封してください。
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、次の 3 点を提出してください。 ・市区町村長の発行する「住民票」 ・「在留カード」両面の写 ・「国民健康保険証」の写

(3) 出願に際しての注意事項

- ・出願書類等が不備なものは受理しません。
- ・出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- ・受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、実務経験報告及び志望理由、調査書及び希望専攻別で行う「面接試験(専門科目による口頭試問を含む)」の結果を総合して判定します。

選抜日程等

試 験 日	時 間	科目等	出題分野・内容等
令和3年7月26日(月)	1名20分程度	面 接	人物評価 専門科目に関する口頭試問

※ 試験は本校キャンパス内で行います。

※ 試験開始時間等の詳細については、出願後に配付する「受験者心得」でお知らせします。

4. 合格発表

令和3年8月3日(火)に、速達郵便で本人宛に合否結果の文書を発送しますので、到着は1～2日後となります。

本校ホームページへの掲載、学内での掲示は行いません。また、電話による合否の問合せには一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和3年8月16日(月)までに入学確約書を提出してください。

期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。

なお、8月7日(土)から15日(日)まで、本校では夏季省エネ期間を予定しており、この期間は入学確約書の提出窓口も閉まりますので、ご注意ください。

【社会人特別選抜 書式例】

令和 3 年 月 日

実務経験報告及び志望理由について

氏 名 ○ ○ ○ ○

次の 2 つの項目に関して、1,200 字程度で A4 用紙 1 枚に、word 等で作成してください。
その際、使用フォントは「MS 明朝」とし、フォントサイズは「11pt」としてください。

1. 実務経験について

- ① どんな仕事に、どう取り組み、どのような成果を出したのか。数字で計れる成果の場合は、具体的な数字や相対比較で記載すること。
- ② どんな経験・スキルを持ち、何ができるのか。
- ③ 資格を取得した場合、どういった理由で取得しようと思ったのか。また「業務上資格が必要」という場合にも、その旨がわかるよう書くこと。

2. 志望の理由等

- ① なぜ、その専攻を志望したのか。実務経験と志望動機との関連がある場合は、その点も述べる
こと。
- ② その専攻の学習・研究を通じて何を得たいのか。
- ③ 専攻科を修了した成果を将来どのように活かすのか。これから先何をを目指すのか。

【社会人特別選抜 書式例】

令和 3 年 月 日

職務経歴書

受験番号	
------	--

ふりがな 氏名	
------------	--

① 学歴（専門学校・高専・短大・大学等卒業・退学以降）

昭・平・令 年 月	卒業・退学
昭・平・令 年 月	
昭・平・令 年 月	
昭・平・令 年 月	

② 業種および職務

業種については、「精密機器」、「ソフトウェア・情報処理」等と記載してください。
 職務については、「業務用カメラの開発（ハードウェア、ソフトウェア）に従事」
 「ネットワーク設計・構築に従事」等と記載してください。

勤務先会社等名 経験期間 業 種 職 務	

注) 必要に応じて行と頁を追加してください。

③ 海外関連業務の経験

海外関連業務の経験がある場合は業種・職務・国・期間を記載してください。

④ 直近2年に TOEIC、TOEFL 等を受けていれば、そのスコアを記載してください。

(スコアシート等の原本を添付してください。原本は後日返却します。)

東京工業高等専門学校専攻科案内

1. 専攻科の設置

平成 15 年 4 月 1 日

2. 専攻及び入学定員

機械情報システム工学専攻	8 名
電気電子工学専攻	8 名
物質工学専攻	4 名

3. 修学年限及び修了要件

- (1) 修学年限 2 か年
- (2) 修了要件 62 単位以上取得

4. 学習・教育目標

専攻科の学習・教育目標は、次の(A)～(D)に示された国際化・複合化に対応できるものづくり技術者の育成です。

- (A) 技術と地球環境保全との関係を理解し、技術者に求められる危機・安全に関する倫理観と的確な行動規範を身につけた技術者
- (B) 日本語および英語によるコミュニケーション能力を身につけ、国際的に活躍しうる素養を持った技術者
- (C) 基礎学力の上に、実践力、創造力、研究開発能力を身につけた技術者
- (D) 生涯にわたる自己啓発能力や健康管理能力および社会の変化に的確に対応できる柔軟性を身につけた技術者

前記の学習・教育目標を実現するために、各専攻では次のような教育を行います。

① 機械情報システム工学専攻

機械工学・情報工学とこれらの応用技術を基礎としてコンピュータと機械が融合した機械情報システムに関する総合的知識・技術を演習・実習の中に組み込んで教授し「ものづくり」及び「技術・理論等」の提案・討論のできる実践的な開発応用能力を育成します。修了後も自らを成長させ続けていくための基礎力を養成します。

② 電気電子工学専攻

情報・通信・回路・制御、電子材料・デバイス、エネルギーなどの基本的な知識・技術を基に、電気電子システムに関する総合的な知識・技術を教授します。同時に講義と連携する実験、演習、実習により「ものづくり」のできる実践的な開発応用能力を育成します。修了後も自らを成長させ続けていくための基礎力を養成します。

③ 物質工学専攻

材料、環境・生物を化学の視点でとらえ、新規材料の開発と製造、環境浄化と環境管理、バイオ製品の開発と製造に関する知識と技術を教授し、「ものづくり」のできる実践的な開発応用能力を育成します。修了後も新しい知識や技術を積極的に吸収できる基礎能力を養成します。

5. 学位の取得

本校専攻科は、平成 27 年度に大学改革支援・学位授与機構(以下「学位授与機構」という)から特例適用専攻科(学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科)として認定を受けました。これにより、従来の学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式から、学校が専攻科修了見込み者全員分をまとめて学位授与機構に申請し、一括審査される方式に変わりました。特例による学位授与の申請は、インターネットを利用した電子申請で行います。

学位審査は、学修総まとめ科目の履修に関して行われ、審査に合格した者に学位が授与されます。学修総まとめ科目は、学士課程教育に相当する学修を総括する授業科目で 2 年次に開設されます。専攻分野を通じて培うことが求められる能力並びに専攻に係る学修及び探究の成果をまとめた論文を評価して単位が与えられます。

ただし、本校以外の高専から専攻科に入学された方は所属高専本科の教育課程が、本校本科を卒業してから数年間が空いている方はその当時の教育課程が、学位授与機構に登録されている本校本科の教育課程と同一である必要があります。同一であると証明できない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。

ご不明な点は、学生課教務係までお問い合わせください。

6. 専攻科の特別研究の研究テーマの選択について

特例による学位授与申請を行う学生は、学修総まとめ科目の履修を通じて、自らの専攻に係るテーマを設定して学修・探究を行い、その成果を論文に結実させて、成果の要旨を学位授与機構に提出します。

本校では、「特別研究Ⅱ」が学修総まとめ科目となります。学修総まとめ科目の実施計画書は専攻の区分ごとに決められており、また、自分が取り組みたい研究テーマは、専攻ごとに設定された複数の個表から選ぶことになります。

例えば、機械情報システム工学専攻の学生は、機械情報システム工学専攻の個表から研究テーマを選ぶことになります。他の専攻（電気電子工学専攻や物質工学専攻）の個表（研究テーマ）を選ぶことは出来ません。

7. 入学時に必要な経費

(令和 3 年度入学生実績)

種 別	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	入学手続き時に納入する。
授 業 料	117,300円 (前期分)	年額234,600円を2期に分けて納入する。 (一括納入も可能)
教 科 書 代	約40,000円	各専攻により別途指定する。

注 1) 入学料、授業料については、高等専門学校機構本部からの通知により金額が改正される場合があります。

注 2) 在学中に授業料改正が行われた場合は、改正時から新授業料が適用されます。

8. 入学料または授業料の免除（減免）及び徴収猶予について

入学料または授業料の免除（減免）及び徴収猶予は、①文部科学省発令の高等教育の修学支援制度、②独立行政法人国立高等専門学校機構による制度の2通りがあります。

① 文部科学省発令の高等教育の修学支援制度について

令和2年度から文部科学省により開始された新しい修学支援制度です。採用された場合、入学料・授業料の減免及び給付奨学金が支給されます。

【対象世帯】

住民税非課税及びそれに準ずる、以下のいずれかの区分に該当する世帯が対象となります。

第Ⅰ区分：本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分：本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分：本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

※1 上記、家計基準の他に学力基準があります。また外国籍の方は在留資格に制限があります。

詳しい内容は以下日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(日本学生支援機構ホームページ)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html>

※2 減免・支給額は区分により異なります。所得基準を満たすかどうかは、上記、日本学生支援機構のホームページに掲載されている「進学資金シミュレーター」でおおよその確認ができます。

② 独立行政法人国立高等専門学校機構による制度について

(1) 入学料の免除または徴収猶予

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、或いは風水害等の災害を受けたりした場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料が免除、または、徴収を猶予する制度です。

(2) 授業料の免除または徴収猶予

授業料の各期の納付期限前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額又は半額が免除、または、徴収を猶予する制度です。

9. 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考のうえ奨学金が給付または貸与される制度があります(高専在学中に日本学生支援機構から奨学金を受けていても、改めて申し込むこととなります)

10. その他

ご不明な点等については、裏表紙の連絡先までお問い合わせください。



独立行政法人
国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

〒193-0997 東京都八王子市櫛田町 1220-2

電話 (042) 668-5127 [学生課教務係]

※祝祭日を除く月～金曜日 9:00～13:20, 14:10～16:00

URL : <https://www.tokyo-ct.ac.jp/>